

令和7年度使用
中学校用教科用図書
採択参考資料

社 会

地理的分野

| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 |
|-----------|-----------|
| 2 東書 | 地理 002-72 |
| 17 教出 | 地理 017-72 |
| 46 帝国 | 地理 046-72 |
| 116 日文 | 地理 116-72 |

公民的分野

| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 |
|-----------|-----------|
| 2 東書 | 公民 002-92 |
| 17 教出 | 公民 017-92 |
| 46 帝国 | 公民 046-92 |
| 116 日文 | 公民 116-92 |
| 225 自由社 | 公民 225-92 |
| 227 育鵬社 | 公民 227-92 |

歴史的分野

| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 |
|-----------|-----------|
| 2 東書 | 歴史 002-72 |
| 17 教出 | 歴史 017-72 |
| 46 帝国 | 歴史 046-72 |
| 81 山川 | 歴史 081-72 |
| 116 日文 | 歴史 116-72 |
| 225 自由社 | 歴史 225-72 |
| 227 育鵬社 | 歴史 227-72 |
| 229 学び舎 | 歴史 229-72 |
| 236 令書 | 歴史 236-73 |

社 会

(地理的分野・歴史的分野・公民的分野)

I 教科用図書の調査研究に当たって

1 調査対象教科用図書

(1) 地理的分野

2 東書 17 教出 46 帝国 116 日文

(2) 歴史的分野

2 東書 17 教出 46 帝国 81 山川 116 日文 225 自由社 227 育鵬社 229 学び舎 236 令書

(3) 公民的分野

2 東書 17 教出 46 帝国 116 日文 225 自由社 227 育鵬社

2 調査研究の観点

(1) 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することができる内容であるか。

(2) 地域の実情に応じた学習を行うことができるよう配慮されており、生徒の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。

(3) 各内容の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるよう配慮されているか。

(4) 表記や表現、各種の資料が適切であり、資料が活用されやすいよう配慮されているか。

3 調査研究に対する基本的な考え方

(1) 偏りのない公正な立場で調査研究を行っている。

(2) 調査研究の資料を通して、教科用図書の特徴が明らかになるよう配慮している。

(3) 記述に当たっては、教科用図書の内容を具体的に取り上げるようにし、調査員の主観に陥らないようにしている。

(4) 採択の関係者が、見やすく分かりやすいよう配慮している。

II 採択参考資料の見方について

1 各教科用図書の発行者の記載順序は、発行者の番号順としている。

2 各教科用図書の調査票は、記載順序に従って配列してある。

3 調査票の調査研究項目は、調査研究の観点についてまとめている。

(1) 概括的な調査研究…………… 観点(1)(3)

① 総頁数・サイズ ② 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

③ 世界の諸地域の各州別頁数等（地理的分野のみ）

④ 日本の諸地域の各地方別頁数等（地理的分野のみ）

(2) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること…………… 観点(1)

(3) 課題解決的な学習の充実に関すること…………… 観点(2)(3)

(4) 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること…………… 観点(1)(2)(3)

① 伝統・文化等に関する学習の充実 ② 主権者教育等の改善・充実

③ 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

④ グローバル化等への対応

(5) 教材や資料の選択に関すること…………… 観点(2)(4)

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 294 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | | 頁 | 二次元コード |
|--------------|---------------|----|--------|
| 「世界と日本の姿」 | 「世界の姿」 | 12 | 5 |
| | 「日本の姿」 | 12 | 6 |
| 「世界のさまざまな地域」 | 「人々の生活と環境」 | 24 | 13 |
| | 「世界の諸地域」 | 86 | 38 |
| 「日本のさまざまな地域」 | 「地域調査の手法」 | 12 | 6 |
| | 「日本の地域的特色」 | 27 | 13 |
| | 「日本の諸地域」 | 86 | 43 |
| | 「持続可能な地域の在り方」 | 11 | 5 |
| その他 | | 24 | 8 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

(3) 世界の諸地域の各州別頁数等

| 州名 | 頁 | 州ごとに設ける主題 | 取り上げる地球的課題 |
|--------|----|-----------|------------------|
| アジア州 | 18 | 経済成長 | 人口・居住・都市の問題 |
| ヨーロッパ州 | 14 | 国家間の統合 | 国家間の統合の問題 |
| アフリカ州 | 12 | 国際的な支援 | 食料生産や経済発展での支援の問題 |
| 北アメリカ州 | 14 | 移民と経済 | 地域格差の問題 |
| 南アメリカ州 | 12 | 開発と環境保全 | 環境保全と開発の問題 |
| オセアニア州 | 12 | 多文化社会 | 多文化社会の形成の問題 |

(4) 日本の諸地域の各地方別頁数等

| 地方名 | 頁 | 考察の仕方 | 地域的特色や地域の課題 |
|---------|----|----------|--|
| 九州地方 | 12 | 自然環境 | ・火山や台風などへの対策 ・温暖な気候を生かした産業 |
| 中国・四国地方 | 12 | 交通や通信 | ・交通網の発達による生活と産業の変化 ・インターネットを活用した地域おこし |
| 近畿地方 | 12 | 人口や都市・村落 | ・都市の再開発とニュータウン ・過疎になやむ地域の活性化 |
| 中部地方 | 12 | 産業 | ・地域ごとに個性豊かな産業の発展 |
| 関東地方 | 12 | 交通や通信 | ・首都東京を中心にした交通・通信網の発達 ・交通や通信を生かした産業の発展 |
| 東北地方 | 12 | 生活・文化 | ・伝統的な産業の発展とグローバル化 ・生活や文化の継承 |
| 北海道地方 | 12 | 自然環境 | ・厳しい冬の寒さへの対策 ・広大な土地や寒冷な気候を生かした産業 |

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「チェック&トライ」で構成されている。
- 「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、各節が、導入写真・地図 → 自然環境 → 歴史、生活・文化、産業など → 「まとめの活動」で構成されている。
- 「地域調査の手法」では、調査テーマの決め方、視点の例、調査の手順、必要な技能、まとめ発表等が示されている。
- 技能の習得に関して、「スキル・アップ」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている用語の意味を確認できる「用語解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている事項を探することができる「事項さくいん」、地名を探することができる「地名さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 「地理的な見方・考え方」に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、始めに「探究課題」が示され、単元の最後には「探究課題」を解決するための「まとめの活動」が設けられている。
- グループで取り組む活動について、「みんなでチャレンジ」が設けられている。
- 「導入の活動」や「まとめの活動」において、シンキングツールの使い方が示されている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方と学び方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 各地の生活・文化を踏まえた日本の諸地域の学習については、「日本の諸地域」の地方別学習において取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 地域の在り方で取り扱う考察、構想については、「持続可能な地域の在り方」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「調査計画を立てよう」「野外調査に出よう」「調査の結果をまとめ発表しよう」「日本で見られるさまざまな自然災害」「防災・減災に向けた取り組みと課題」「もっと知りたい『鉄道が支える地域の復興』」「自然がもたらす災害や困難」「ニュータウンの変化と農村の変化」「記憶の継承と地域づくり」「自然を生かした生活や産業」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「日本の領域の特色」「北方領土・竹島と尖閣諸島」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 地球的課題を主題とした世界の諸地域の学習については、「世界の諸地域」の州別学習において取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各見開きでは章ごとに枠組みの色が統一され、右端にインデックスが設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードと URL が掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 306 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | | 頁 | 二次元コード |
|--------------|---------------|-----|--------|
| 「世界と日本の地域構成」 | 「世界の地域構成」 | 10 | 4 |
| | 「日本の地域構成」 | 9 | 2 |
| 「世界のさまざまな地域」 | 「世界の人々の生活と環境」 | 18 | 3 |
| | 「世界の諸地域」 | 85 | 7 |
| 「日本のさまざまな地域」 | 「地域調査の方法を学ぼう」 | 14 | 3 |
| | 「日本の特色と地域区分」 | 26 | 2 |
| | 「日本の諸地域」 | 107 | 9 |
| 「地域のあり方」 | | 10 | 1 |
| その他 | | 27 | 4 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

(3) 世界の諸地域の各州別頁数等

| 州名 | 頁 | 州ごとに設ける主題 | 取り上げる地球的課題 |
|--------|----|--------------|------------|
| アジア州 | 18 | 経済発展 | 人口問題 |
| ヨーロッパ州 | 16 | 国々の結びつきの強まり | 環境問題 |
| アフリカ州 | 10 | 国際協力や国際支援 | 人口問題、食料問題 |
| 北アメリカ州 | 14 | 先進的で多様な産業の発達 | 多民族の共存の問題 |
| 南アメリカ州 | 12 | 自然破壊や都市の人口増加 | 環境問題、都市問題 |
| オセアニア州 | 10 | 他地域との関係の強まり | 多民族の共存の問題 |
| その他 | 5 | | |

(4) 日本の諸地域の各地方別頁数等

| 地方名 | 頁 | 考察の仕方 | 地域的特色や地域の課題 |
|---------|----|---------------|--|
| 九州地方 | 14 | 自然環境とその保全 | 多様な自然環境と人々の生活や生産活動の関わりと、自然環境を保全する地域 |
| 中国・四国地方 | 14 | 人口集中と人口減少 | 人口集中により発達した地域や、人口減少により生活していくのが難しい地域 |
| 近畿地方 | 14 | 歴史 | 地域の歴史的な背景や移り変わりが見られる地域 |
| 中部地方 | 16 | 産業 | 農業、工業、観光などの産業が発達し、その重要性が増している地域 |
| 関東地方 | 14 | 交通・通信 | さまざまな地域から人やものが集まってくる地域 |
| 東北地方 | 14 | 地域の伝統文化と産業の変化 | 都市化や国際化によって、伝統文化に変化が見られる地域 |
| 北海道地方 | 14 | 自然環境と関連する産業 | 開発の歴史が浅いため、人の手が加わっていないままの自然環境が残されている地域 |
| その他 | 6 | | |

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、「導入資料・中心資料」→「学習課題」→本文→「確認!」「表現!」で構成されている。
- 「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、各節が、導入写真→自然環境→歴史、生活・文化、産業など→「学習のまとめと表現」で構成されている。
- 「地域調査の方法を学ぼう」では、調査のテーマの決め方、視点の例、調査手順、必要な技能、まとめ発表等が示されている。
- 技能の習得に関して、「地理の技」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている用語の意味を確認できる「用語解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている事項や地名を探ることができる「さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 「地理的な見方・考え方」に関して、「見方×考え方」が示されている。
- 全ての単元において、始めに「章を見通した学習課題」「学習テーマ」「学習の視点」が示され、単元の最後には、「章を見通した学習課題」「学習テーマ」「学習の視点」に対する「学習のまとめと表現」が設けられている。
- 「THINK!」「学習のまとめと表現」において、グループで取り組む活動が示されている。
- 「学習のまとめと表現」において、シンキングツールの使い方が示されている。
- 自主的な学習に関して、「教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 各地の生活・文化を踏まえた日本の諸地域の学習については、「日本の諸地域」の地方別学習において取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 地域の在り方で取り扱う考察、構想については、「地域のあり方」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「調査の計画を立てる」「地域の防災について調べる」「他の地域と比べる」「地理の窓『日本で地震が多いのはなぜか』」「自然災害に向き合う」「災害から身を守るために」「火山とともに暮らす」「地理の窓『震災の経験に学ぶ』」「持続可能な社会に向けて『震災の経験を未来に生かす』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「日本の国土の広がり」「日本の領土をめぐる」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 地球的課題を主題とした世界の諸地域の学習については、「世界の諸地域」の州別学習において取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各見開きでは章ごとに枠組みの色が統一され、右端にインデックスが設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 310 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | | 頁 | 二次元コード |
|--------------|------------|-----|--------|
| 「世界と日本の地域構成」 | 「世界の姿」 | 12 | 8 |
| | 「日本の姿」 | 12 | 5 |
| 「世界のさまざまな地域」 | 「人々の生活と環境」 | 19 | 6 |
| | 「世界の諸地域」 | 83 | 20 |
| 「日本のさまざまな地域」 | 「地域調査のしかた」 | 12 | 3 |
| | 「日本の地域的特色」 | 26 | 4 |
| | 「日本の諸地域」 | 117 | 31 |
| 「地域のあり方」 | | 11 | 2 |
| その他 | | 18 | 6 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

(3) 世界の諸地域の各州別頁数等

| 州名 | 頁 | 州ごとに設ける主題 | 取り上げる地球的課題 |
|--------|----|---------------|------------|
| アジア州 | 18 | 急速な経済成長 | 都市・居住問題 |
| ヨーロッパ州 | 16 | 国どうしの結びつきの強まり | 経済格差 |
| アフリカ州 | 12 | 特定の産物に頼る経済 | 食料問題 |
| 北アメリカ州 | 14 | 巨大な産業 | 生産と消費の問題 |
| 南アメリカ州 | 12 | 農地や鉱山の開発 | 熱帯林の破壊 |
| オセアニア州 | 10 | 他地域との関係 | 多文化の共生 |

(4) 日本の諸地域の各地方別頁数等

| 地方名 | 頁 | 考察の仕方 | 地域的特色や地域の課題 |
|---------|----|----------|--------------------------------|
| 九州地方 | 16 | 自然環境 | 温暖な気候を生かした産業の発展 火山への対策 |
| 中国・四国地方 | 16 | 交通や通信 | 交通や通信を生かした産業の発展 過疎地域の活性化 |
| 近畿地方 | 18 | 環境保全 | 環境に配慮した産業の発展 自然環境や歴史的景観の保全 |
| 中部地方 | 16 | 産業 | 地域の特性を生かした新たな産業の発展 |
| 関東地方 | 16 | 人口や都市・村落 | 人口の集中を生かした産業の発展 過密への対策 |
| 東北地方 | 16 | 生活・文化 | 伝統文化を生かした産業の発展 伝統文化の継承 |
| 北海道地方 | 18 | 自然環境 | 寒冷な気候を生かした産業の発展 厳しい寒さや雪への対策 |

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 「本文資料」 → 「確認しよう」「説明しよう」で構成されている。
- 「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、各節が、導入写真 → 自然環境 → 歴史、生活・文化、産業など → 「学習を振り返ろう」で構成されている。
- 「地域調査のしかた」では、調査のテーマの決め方、視点の例、調査手順、必要な技能、まとめ発表等が示されている。
- 技能の習得に関して、「技能をみがく」が設けられている。
- 全ての単元において、用語の意味を確認できる「解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている事項を探することができる「事項さくいん」、地名を探することができる「地名さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 「地理的な見方・考え方」に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、始めに「章(節)の問い」が示され、単元の最後には、「章(節)の問い」を解決するための「学習を振り返ろう」が設けられている。
- グループで取り組む活動について、「対話」のマークが示されている。
- 「考えを整理する方法」において、シンキングツールの使い方が示されている。
- 自主的な学習に関して、「教科書を活用した学び」「地図帳を活用した学び」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 各地の生活・文化を踏まえた日本の諸地域の学習については、「日本の諸地域」の地方別学習において取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 地域の在り方で取り扱う考察、構想については、「地域のあり方」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「日本のさまざまな自然災害」「自然災害に対する備え」「アクティブ地理 AL『自然災害から命を守ろう』」「九州地方の自然環境」「火山と共にある九州地方の人々の生活」「中国・四国地方の自然環境」「近畿地方の自然環境」「中部地方の自然環境」「関東地方の自然環境」「東北地方の自然環境」「未来に向けて『災害からの復興と生活の場の再生』」「北海道地方の自然環境」「地域の実態を調査しよう」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「日本の領域とその特徴」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 地球的課題を主題とした世界の諸地域の学習については、「世界の諸地域」の州別学習において取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各見開きでは章ごとに枠組みの色が統一され、右端にインデックスが設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードと URL が掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 318 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | | 頁 | 二次元コード |
|--------------|-----------------|-----|--------|
| 「世界と日本の地域構成」 | 「世界の地域構成」 | 10 | 5 |
| | 「日本の地域構成」 | 10 | 5 |
| 「世界のさまざまな地域」 | 「世界各地の人々の生活と環境」 | 18 | 9 |
| | 「世界の諸地域」 | 86 | 48 |
| 「日本のさまざまな地域」 | 「地域調査の手法」 | 14 | 3 |
| | 「日本の地域的特色と地域区分」 | 24 | 12 |
| | 「日本の諸地域」 | 114 | 63 |
| | 「地域の在り方」 | 11 | 2 |
| その他 | | 31 | 5 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

(3) 世界の諸地域の各州別頁数等

| 州名 | 頁 | 州ごとに設ける主題 | 取り上げる地球的課題 |
|--------|----|---------------|------------------|
| アジア州 | 16 | 人口や経済発展 | 経済発展の地域格差や都市問題 |
| ヨーロッパ州 | 16 | 国境をこえた統合 | 統合のかげで広がる格差と対立 |
| アフリカ州 | 12 | 自立のための開発と国際協力 | モノカルチャー経済からの自立 |
| 北アメリカ州 | 16 | 世界に影響をあたえる産業 | 大量生産・大量消費の生活スタイル |
| 南アメリカ州 | 12 | 開発と環境保全 | 熱帯雨林の伐採による環境破壊 |
| オセアニア州 | 12 | 多文化社会 | 多様な民族の共生 |

(4) 日本の諸地域の各地方別頁数等

| 地方名 | 頁 | 考察の仕方 | 地域的特色や地域の課題 |
|---------|----|------------|--------------------|
| 九州地方 | 14 | 自然環境 | 自然環境と人々の生活の両立 |
| 中国・四国地方 | 14 | 交通・通信 | 過疎化・高齢化した地域の活性化 |
| 近畿地方 | 14 | 歴史的背景 | 歴史的背景と人々の生活の両立 |
| 中部地方 | 14 | 産業 | 産業の競争力の維持 |
| 関東地方 | 14 | 人口や都市・村落 | 過密化にともなうさまざまな課題 |
| 東北地方 | 14 | 持続可能な社会づくり | 震災から10年以上経過した現在の課題 |
| 北海道地方 | 14 | 自然環境 | 自然環境との共生 |

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 「見方・考え方」 → 「本文ページ」 → 「確認」、「表現」で構成されている。
- 「世界の諸地域」「日本の諸地域」では、各節が、導入写真 → 自然環境 → 「問いを立てよう」 → 歴史、生活・文化、産業など → 「まとめとふり返し」で構成されている。
- 「地域調査の手法」では、調査のテーマの決め方、視点の例、調査手順、必要な技能、まとめ発表等が示されている。
- 技能の習得に関して、「スキルUP」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている用語の意味を確認できる「用語解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている事項を探することができる「事項さくいん」、地名を探することができる「地名さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 「地理的な見方・考え方」に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、「編(章)(節)の問い」が示され、単元の最後には「編(章)(節)の問い」を解決するための「まとめとふり返し」が設けられている。
- グループで取り組む活動について、「学び合い」のマークが示されている。
- 「まとめとふり返し」において、シンキングツール等の使い方が示されている。
- 自主的な学習に関して、「教科書の構成と学び方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 各地の生活・文化を踏まえた日本の諸地域の学習については、「日本の諸地域」の地方別学習において取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 地域の在り方で取り扱う考察、構想については、「地域の在り方」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「自然災害からみた日本の地域的特色と地域区分」「災害に備えるために」「持続可能な地域をめざして『せまりくる巨大地震にそなえて』」「持続可能な地域をめざして『ハザードマップを活用しよう』」「自然環境に影響を受ける人々の生活」「持続可能な都市づくりに向けて」「持続可能な地域をめざして『復興の先をみすえて』」「東日本大震災にともなう社会の変化」「震災からの復興と災害に強い地域づくり」「自然環境との共生をはかるために」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「日本の領域の特色をとらえよう」「日本の領域をめぐる問題をとらえよう」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 地球的課題を主題とした世界の諸地域の学習については、「世界の諸地域」の州別学習において取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各見開きでは章ごとに枠組みの色が統一され、右端にインデックスが設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードとURLが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 300 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | 頁 | 二次元コード |
|--------------|----|--------|
| 「歴史へのとびら」 | 14 | 6 |
| 「古代までの日本」 | 42 | 20 |
| 「中世の日本」 | 34 | 17 |
| 「近世の日本」 | 46 | 23 |
| 「開国と近代日本の歩み」 | 58 | 29 |
| 「二度の世界大戦と日本」 | 42 | 20 |
| 「現代の日本と私たち」 | 32 | 15 |
| その他 | 32 | 5 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元の始めに、「導入の活動」が設けられている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「チェック&トライ」で構成されている。
- 各節末には「探究のステップ」が、各章末には「□□の学習をふり返り、まとめよう」が設けられている。
- 「身近な地域の歴史」では、調査テーマの決め方、調査手順、必要な技能、まとめ発表等が示されている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、「スキル・アップ」が設けられている。
- 巻末には、「用語解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探することができる「人名さくいん」、事項を探することができる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史的な見方・考え方に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、始めに「探究課題」が示され、単元の最後には「探究課題」を解決するための「まとめの活動」が設けられている。
- グループで取り組む活動について、「みんなでチャレンジ」が設けられている。
- 「まとめの活動」において、シンキングツールの使い方が示されている。
- 歴史学習のまとめとして、「歴史に学び、未来へと生かそう」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方と学び方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 琉球とアイヌの文化について、「東アジアとの交流」「もっと知りたい『東アジア世界の国々の交流と琉球文化』」「琉球王国やアイヌ民族との関係」「もっと知りたい『アイヌ文化とその継承』」「国境と領土の確定」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャ・ローマの文明」で取り上げられている。
- 市民革命については、「イギリスとアメリカの革命」「フランス革命」「ヨーロッパにおける国民意識の高まり」で取り上げられている。
- 日本の男女普通選挙については、「立憲制国家の成立」「広がる社会運動と男性普通選挙の実現」「民主化と日本国憲法」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「もっと知りたい『関東大震災』」「持続可能な社会の実現に向けて」「もっと知りたい『震災の記憶を語りつぐ』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「国境と領土の確定」「領土をめぐる問題の背景」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

- ユーラシアの変化については、「モンゴル帝国とユーラシア世界」「モンゴルの襲来」で取り上げられている。
- ヨーロッパ人來航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「ヨーロッパ世界の変化」「ヨーロッパ世界の拡大」で取り上げられている。
- アジア諸国の動きについては、「欧米のアジア侵略」で取り上げられている。
- 現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「冷戦後の国際社会」「変化する冷戦後の世界」「持続可能な社会の実現に向けて」「もっと知りたい『日本のエネルギーのこれまで』」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 各章の扉ページに学習内容の時期を示した年表を設けた上で、全ての単元において、各項に学習内容の時期を着色した「時代スケール」が右端に設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードと URL が掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 318 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | 頁 | 二次元コード |
|---------------|----|--------|
| 「歴史のとらえ方・調べ方」 | 18 | 2 |
| 「原始・古代の日本と世界」 | 40 | 4 |
| 「中世の日本と世界」 | 36 | 3 |
| 「近世の日本と世界」 | 48 | 4 |
| 「日本の近代化と国際社会」 | 62 | 3 |
| 「二度の世界大戦と日本」 | 46 | 3 |
| 「現代の日本と世界」 | 36 | 2 |
| その他 | 32 | 3 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元の始めに、「第□章の学習のはじめに」が設けられている。
- 全ての単元において、各項が、「導入資料・中心資料」→「学習課題」→本文→「確認!」「表現!」で構成されている。
- 各節末には「□節をとらえる」が、各章末には「学習のまとめと表現」が設けられている。
- 「身近な地域の歴史を調べよう」では、調査テーマの決め方、調査手順、必要な技能、まとめ発表等が示されている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、「歴史の技」が設けられている。
- 全ての単元において、用語を解説する「解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探することができる「人名さくいん」、事項を探することができる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史的な見方・考え方に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、始めに「第□章の問い」が示され、単元の最後には「第□章の問い」を解決するための「学習のまとめと表現」が設けられている。
- 「THINK!」「学習のまとめと表現」において、グループで取り組む活動が示されている。
- 「歴史にアプローチ」において、シンキングツールの使い方が示されている。
- 歴史学習のまとめとして、「歴史学習の終わりに」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 琉球とアイヌの文化について、「北と南で開かれた交易」「琉球・蝦夷地を通じた国際関係」「形づくられる日本国家」「身近な地域の歴史を調べよう『沖縄の歴史を調べよう』『北海道の歴史を調べよう』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「すべての道はローマに通ず」で取り上げられている。
- 市民革命については、「王は君臨すれども統治せず」「代表なくして課税なし」「歴史を探ろう『国民国家の成立』」で取り上げられている。
- 日本の男女普通選挙については、「万世一系の天皇之を統治す」「デモクラシーのうねり」「敗戦からの再出発」「歴史学習の終わりに」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「歴史を探ろう『危機に立ち向かった人々』」「私たちの生きる時代へ」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「形づくられる日本国家」「独立の回復」「歴史を探ろう『隣国と向き合うために』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

- ユーラシアの変化については、「大陸をまたぐモンゴル帝国」「海から押し寄せる元軍」で取り上げられている。
- ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「中世からの脱却」「太陽の沈まない国」「歴史を探ろう『大海を越える人と物』」で取り上げられている。
- アジア諸国の動きについては、「国をゆるがす綿とアヘン」で取り上げられている。
- 現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「民主化のうねりと国際社会の変化」「私たちの生きる時代へ」「未来をひらくために」「歴史学習の終わりに」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 各章の扉ページに学習内容の時期を示した年表を設けた上で、全ての単元において、各項に学習内容の時期を着色した「時代スケール」がタイトル上部に設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードと URL が掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り込められている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 334 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | 頁 | 二次元コード |
|-----------------|----|--------|
| 「歴史のとらえ方と調べ方」 | 12 | 0 |
| 「古代国家の成立と東アジア」 | 48 | 11 |
| 「武家政権の成長と東アジア」 | 42 | 8 |
| 「武家政権の展開と世界の動き」 | 56 | 10 |
| 「近代国家の歩みと国際社会」 | 66 | 11 |
| 「二度の世界大戦と日本」 | 48 | 9 |
| 「現在に続く日本と世界」 | 32 | 6 |
| その他 | 30 | 8 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元に、「タイムトラベル」が設けられている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 「本文資料」 → 「確認しよう」 → 「説明しよう」で構成されている。
- 各節末には「節の振り返り」が、各章末には「章の振り返り」が設けられている。
- 「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、調査テーマの決め方、調査手順、必要な技能、まとめ発表等が示されている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、「技能をみがく」が設けられている。
- 全ての単元において、用語を解説する「解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探すことができる「人名さくいん」、事項を探すことができる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史的な見方・考え方に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、始めに「□章の問い」が示され、単元の最後には「□章の問い」を解決するための「学習を振り返ろう」が設けられている。
- グループで取り組む活動について、「対話」マークが示されている。
- 「考えを整理する方法」において、シンキングツールの使い方が示されている。
- 歴史学習のまとめとして、「これからの社会を構想しよう」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「教科書を活用した学び方」「タイムトラベルの学習のしかた」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 琉球とアイヌの文化について、「琉球とアイヌ民族がつなぐ交易」「琉球王国とアイヌ民族への支配」「歴史を探ろう『琉球とアイヌ民族の暮らし』」「沖縄・北海道と近代化の波」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャとローマの政治と文明」で取り上げられている。
- 市民革命については、「市民革命の始まり」「人権思想からフランス革命へ」で取り上げられている。
- 日本の男女普通選挙については、「帝国憲法の成果と課題」「社会運動の高まりと男子普通選挙の実現」「新時代に求められた憲法」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「近代都市に現れた大衆文化」「国際社会におけるこれからの日本」「未来に向けて『歴史から防災を学ぼう』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「新たな外交と国境の画定」「歴史を探ろう『日本の領土画定と近隣諸国』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

- ユーラシアの変化については、「モンゴル帝国と『蒙古襲来』」「歴史を探ろう『東アジアに開かれた窓口 博多』」で取り上げられている。
- ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「ヨーロッパの変革」「大航海時代の幕開け」で取り上げられている。
- アジア諸国の動きについては、「世界進出を目指す欧米諸国」「日本を取り巻く世界情勢の変化」で取り上げられている。
- 現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「グローバル化が進む世界」「国際社会におけるこれからの日本」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 各章の扉ページに学習内容の時期を示した年表を設けた上で、全ての単元において、各項に学習内容の時期を着色した「時代スケール」が右端に設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードと URL が掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 294 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | 頁 | 二次元コード |
|--------------|----|--------|
| 「歴史との対話」 | 9 | 0 |
| 「古代までの日本」 | 48 | 9 |
| 「中世の日本」 | 40 | 7 |
| 「近世の日本」 | 52 | 10 |
| 「近代の日本と国際関係」 | 58 | 6 |
| 「二つの世界大戦と日本」 | 42 | 5 |
| 「現代の日本と世界」 | 30 | 3 |
| その他 | 15 | 1 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 単元の始めに、年表とその単元に関わる写真等の資料が示されている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「課題」 → 本文 → 「ステップアップ」で構成されている。
- 各章末には「まとめ」が設けられている。
- 「身近な地域を調べよう」では、テーマの決め方、調査手順、必要な技能、まとめ発表等が示されている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、「歴史を考えよう」が設けられている。
- 全ての単元において、「用語解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探することができる「さくいん 人名」、事項を探することができる「さくいん 事項」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史的な見方・考え方に関して、全ての単元において「Q」が設けられている。
- 全ての単元において、各項に「課題」が、各章末に「まとめ」が設けられている。
- 「歴史へのアプローチ」「地域からのアプローチ」「歴史を考えよう」において、グループで取り組む活動が示されている。
- 各章末の「まとめ」において、自分の考えを整理するための表が設けられている。
- 歴史学習のまとめとして、「現在の世界はどこへ向かっているのだろうか」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 琉球とアイヌの文化について、「歴史へのアプローチ『琉球の歴史と文化』『アイヌ民族の歴史と文化』『江戸時代の対外関係』『明治初期の対外関係』『地域からのアプローチ『札幌』『沖縄』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「地中海文明の発展」で取り上げられている。
- 市民革命については、「市民革命の時代」「歴史へのアプローチ『国家とは何か』」で取り上げられている。
- 日本の男女普通選挙については、「憲法制定と帝国議会」「社会運動の高まりと普通選挙法の制定」「歴史を考えよう『第1回普通選挙の実態を探る』『占領下の日本』」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災については、「今の日本、これからの日本」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「明治初期の対外関係」「歴史へのアプローチ『日本の領土の変遷』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

- ユーラシアの変化については、「モンゴルの襲来と鎌倉幕府への失望」で取り上げられている。
- ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「ルネサンスと宗教改革」「ヨーロッパ人の海外進出」「ユーラシア大陸と海でつながる世界」で取り上げられている。
- アジア諸国の動きについては、「ヨーロッパ列強のアジア侵略」で取り上げられている。
- 現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「冷戦の終結」「今日の世界」「今の日本、これからの日本」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 各章の扉ページに学習内容の時期を示した年表を設けている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、各項に見開きごとに通し番号が付けられている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードが掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 324 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | 頁 | 二次元コード |
|------------------------|----|--------|
| 「私たちと歴史」 | 12 | 7 |
| 「古代までの日本と世界」 | 46 | 26 |
| 「中世の日本と世界」 | 40 | 21 |
| 「近世の日本と世界」 | 50 | 27 |
| 「近代の日本と世界（日本の近代化）」 | 60 | 34 |
| 「近代の日本と世界（二度の世界大戦と日本）」 | 44 | 26 |
| 「現代の日本と世界」 | 34 | 21 |
| その他 | 38 | 6 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元の始めに、「学習のはじめに」が設けられている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 「見方・考え方」 → 本文 → 「確認!」「表現!」で構成されている。
- 各節末には「第〇節の問いに答えよう」が、各章末には「まとめとふり返し」が設けられている。
- 「身近な地域の歴史の探究」では、テーマの決め方、調査手順、必要な技能、まとめ発表等が示されている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、「スキルUP」が設けられている。
- 全ての単元において、用語を解説する「基本用語」が設けられている。
- 巻末には、歴史学習の基礎資料、テーマ別に事項を探ることができる「テーマ別さくいん」、教科書で扱っている人物や事項を探ることができる「さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史的な見方・考え方に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、始めに「第〇編の問い」が示され、単元の最後には「第〇編の問い」を解決するための「まとめとふり返し」が設けられている。
- グループで取り組む活動について、「学び合い」のマークが示されている。
- 「まとめとふり返し」において、シンキングツールの使い方が示されている。
- 歴史学習のまとめとして、『歴史との対話』を未来に活かす」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「教科書の構成と学び方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○琉球とアイヌの文化について、「琉球王国とアイヌ民族」「周辺地域との関係」「領土の画定と隣接地域」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャ・ローマの文明」で取り上げられている。

○市民革命については、「王政から議会制へ」「アメリカの独立とフランス革命」で取り上げられている。

○日本の男女普通選挙については、「大日本帝国憲法の制定と帝国議会」「社会運動の広がり」「平和で民主的な国家をめざして」「『歴史との対話』を未来に活かす課題例②『政治参加の歴史に学ぶ』」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災については、「都市化の進展と大衆文化」「グローバル化の中の日本」「『歴史との対話』を未来に活かす課題例①『災害の歴史に学ぶ』」で取り上げられている。

○我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「領土の画定と隣接地域」「歴史を掘り下げる『冷戦終結後の近隣諸国との関係』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

○ユーラシアの変化については、「元の襲来と鎌倉幕府」で取り上げられている。

○ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「地図で見る世界の動き『15世紀の日本と世界』」「イスラム教の世界とキリスト教の世界」「つながれてゆく世界」で取り上げられている。

○アジア諸国の動きについては、「ヨーロッパのアジア侵略」で取り上げられている。

○現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「冷戦の終わり」とグローバル化」「これからの世界と日本の課題」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○各編の冒頭に学習内容の時期を示した年表を設けた上で、全ての単元において、各項に学習内容の時期を着色した「時代スケール」が右端に設けられている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。

○専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードと URL が掲載されている。)

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 312 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | 頁 | 二次元コード |
|--------------|----|--------|
| 「歴史のとらえ方」 | 12 | 0 |
| 「古代までの日本」 | 50 | 0 |
| 「中世の日本」 | 36 | 0 |
| 「近世の日本」 | 44 | 0 |
| 「近代日本の建設」 | 62 | 0 |
| 「二つの世界大戦と日本」 | 44 | 0 |
| 「現代の日本と世界」 | 33 | 0 |
| その他 | 31 | 0 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元の始めに、「登場人物紹介コーナー」が設けられている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「チャレンジ」で構成されている。
- 各章末には「復習問題のページ」が設けられている。
- 「歴史のとらえ方」では、「地域の歴史を調べる」「人物を通して時代をとらえる」が設けられている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、各項に地図やグラフが設けられている。
- 巻末には、用語を解説する「重要用語解説」が設けられている。
- 巻末には、資料「歴代天皇系図」、教科書で扱っている事項を探することができる「事項さくいん」、人物を探することができる「人名さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史的な見方・考え方に関して、「チャレンジ」が設けられている。
- 各章末には、「時代の特徴を考えるページ」が設けられている。
- 「時代の特徴を考えるページ」において、グループで取り組む活動が示されている。
- 歴史学習のまとめとして、「日本の歴史の特色は何か」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書で使うマークとロゴの紹介」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○琉球とアイヌの文化について、「東アジアとの貿易と交流」「鎖国日本の4つの窓口」「近隣諸国との国境画定」「もっと知りたい『琉球処分とは何か』『日本の近代化とアイヌ』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャ・ローマの文明」で取り上げられている。

○市民革命については、「イギリスの市民革命とアメリカの独立」「啓蒙思想とフランス革命」で取り上げられている。

○日本の男女普通選挙については、「大日本帝国憲法と立憲国家」「政党政治の展開と社会運動」「占領下の日本」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災については、「日米関係とワシントン会議」「世界の新たな激震と自然災害との戦い」、「コラム『世界を驚かせた日本人 東日本大震災』」で取り上げられている。

○我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「近隣諸国との国境画定」「独立の回復と領土問題」「21世紀の日本の進路」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

○ユーラシアの変化については、「モンゴル帝国と世界史の成立」「元寇」で取り上げられている。

○ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「ルネサンスと宗教改革」「ヨーロッパ人の世界進出」で取り上げられている。

○アジア諸国の動きについては、「欧米列強のアジア進出」で取り上げられている。

○現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「冷戦の終結と国内政治の変化」「世界の新たな激震と自然災害との戦い」「21世紀の日本の進路」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○各項に学習内容の時期を着色した「歴史モノサシ」が左下に設けられている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 306 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | 頁 | 二次元コード |
|--------------|----|--------|
| 「序章」 | 14 | 0 |
| 「原始と古代の日本」 | 40 | 1 |
| 「中世の日本」 | 32 | 1 |
| 「近世の日本」 | 50 | 1 |
| 「近代の日本」 | 58 | 1 |
| 「二度の世界大戦と日本」 | 40 | 1 |
| 「現代の日本と世界」 | 36 | 1 |
| その他 | 36 | 1 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元の始めに、「鳥の目で見える□□」「虫の目で見える□□」が設けられている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「確認」「探究」で構成されている。
- 各章末には「学習のまとめ」が設けられている。
- 「身近な地域の歴史の調べ方」では、調査テーマの決め方、調査手順、必要な技能、まとめ発表等が示されている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、「資料活用」が設けられている。
- 全ての単元において、用語を解説する「解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物を探することができる「人名さくいん」、事項を探することができる「事項さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史的な見方・考え方に関して、「見方・考え方」が示されている。
- 各章末にある「学習のまとめ」では、様々な問いが設けられている。
- 「TRY!」「学習のまとめ」において、グループで取り組む活動が示されている。
- 各章末の「学習のまとめ」において、自分の考えを整理するための表が設けられている。
- 歴史学習のまとめとして、「歴史新聞を作ろう」「日本の歴史を大観する」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、『主体的で対話的な深い学び』を支える教科書の構成が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○琉球とアイヌの文化について、「琉球、アイヌとアジアの交易」「『鎖国』の時代に開かれていた窓口」、「明治初期の外交と国境の画定」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャとローマの文明」で取り上げられている。

○市民革命については、「イギリスの革命とアメリカ独立」「フランス革命」で取り上げられている。

○日本の男女普通選挙については、「大日本帝国憲法の制定と帝国議会」「社会運動の広がり」と男子普通選挙の実現」「民主化と日本国憲法制定」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災については、「歴史ビュー『関東大震災』」「これからの世界と日本」「歴史ズームイン『震災の日本史』」で取り上げられている。

○我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「明治初期の外交と国境の画定」「歴史ズームイン『日本の領土をめぐる問題』」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

○ユーラシアの変化については、「モンゴル帝国と東西交流」「モンゴル帝国の襲来」で取り上げられている。

○ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「ルネサンスと宗教改革」「ヨーロッパ人の世界進出」で取り上げられている。

○アジア諸国の動きについては、「欧米諸国のアジア進出」で取り上げられている。

○現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「冷戦終結後の世界」「日本と近隣諸国の変化」「これからの日本と世界」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○各章の扉ページや各項に、学習内容の時期を示した年表が左下に設けられている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。

○専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードと URL が掲載されている。)

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|-----|
| 総頁数 | 308 |
| サイズ | A4判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | 頁 | 二次元コード |
|----------------|----|--------|
| 「歴史への案内」 | 6 | 0 |
| 「文明のはじまりと日本列島」 | 26 | 0 |
| 「日本の古代国家」 | 18 | 0 |
| 「武士の世」 | 32 | 0 |
| 「世界がつながる時代」 | 20 | 0 |
| 「百姓と町人の世」 | 30 | 0 |
| 「世界は近代へ」 | 24 | 0 |
| 「近代国家へと歩む日本」 | 22 | 0 |
| 「帝国主義の時代」 | 30 | 0 |
| 「第二次世界大戦の時代」 | 34 | 0 |
| 「現代の日本と世界」 | 36 | 0 |
| その他 | 30 | 0 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 章の始めに、北極を中心とした地図と章のテーマに沿った写真等の資料が示されている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 で構成されている。
- 各章末には「第□章をふりかえる」が設けられている。
- 「地域の博物館で調べる」において、調べ方、まとめ方等について示されている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、「歴史への案内」が設けられている。
- 全ての単元において、用語を解説する「解説」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている人物や事項を探することができる「索引」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史的な見方・考え方に関して、「第□章をふりかえる」が設けられている。
- 全ての単元において、始めに「□□の学習課題」が設けられている。
- 全ての部の末にある「第□部□□学習のまとめ」において、グループで取り組む活動が示されている。
- 章末の「第□章をふりかえる」において、自分の考えを整理するための表が設けられている。
- 歴史学習のまとめとして、「歴史学習を終えて」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○琉球とアイヌの文化について、「アジアの海をつなぐ王国」「北の海から来た昆布」「江戸を行く朝鮮通信使」「北・南を組み込み、国境を引く」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「円形競技場の熱狂」で取り上げられている。

○市民革命については、「アメリカの大地に生きる」「バスチーユを攻撃せよ」で取り上げられている。

○日本の男女普通選挙については、「天皇主権の憲法」「デモクラシーの波」「焼け跡からの出発」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災については、「3月11日午後2時46分」で取り上げられている。

○我が国の国土に関する指導の充実については、「北・南を組み込み、国境を引く」「日本と清が、朝鮮で」「戦場は中国だった」「インドも中国も来なかった」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

○ユーラシアの変化については、「一つにつながるユーラシア」で取り上げられている。

○ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「インドに出現した船隊」「大西洋の東と西で」で取り上げられている。

○アジア諸国の動きについては、「アヘンを持ち込むな」「インド大反乱と太平天国」で取り上げられている。

○現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「絶えない戦火」「感染症に立ち向かう」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○各章の扉ページに学習内容の時期を示した「時代スケール」が左端に設けられている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されており、見開きごとに通し番号が付けられている。

○インターネット検索を補助する検索ワードを掲載している。

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点を取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|-------|
| 総頁数 | 536 |
| サイズ | A 5 判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | 頁 | 二次元コード |
|--------------|-----|--------|
| 「国史を学ぶにあたって」 | 7 | 0 |
| 「原始」 | 36 | 0 |
| 「古代」 | 66 | 0 |
| 「中世」 | 64 | 0 |
| 「近世」 | 86 | 0 |
| 「近代」 | 142 | 0 |
| 「現代」 | 49 | 0 |
| その他 | 86 | 0 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、折込、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 全ての単元の始めに、その時期の様子を描いたイラストが示されている。
- 全ての単元において、「学習課題」→ 本文 → 「考えよう」で構成されている。
- 章末には「まとめ学習」が設けられている。
- 「グループで歴史を調べよう」において、テーマの決め方、調査手順、必要な技能、まとめ発表等が示されている。
- 全ての単元において、人物の紹介や学習内容に関するコラムが設けられている。
- 技能の習得に関して、章末に「身近な歴史を年表にまとめよう」「新聞にまとめてみよう」「ディベートをしてみよう」「ディスカッションしよう」が設けられている。
- 全ての単元において、「注」が設けられている。
- 巻末には、「歴史学習の幅を広げよう」「政権担当者・出来事対照表」「巻末資料」「日本美術図鑑」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 歴史的な見方・考え方に関するページが設けられている。
- 各項において、「学習課題」が示され、単元の最後には「まとめ学習」が設けられている。
- 「まとめ学習」において、グループで取り組む活動が示されている。
- 章末の「まとめ学習」において、自分の考えを整理するための表が設けられている。
- 歴史学習のまとめとして、「歴史学習の幅を広げよう」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の課題」が設けられている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○琉球とアイヌの文化について、「琉球と蝦夷地」「鎖国下の対外窓口」「領土画定と朝鮮政策」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○政治の来歴の観点からのギリシャ・ローマ文明については、「ギリシャ・ローマの文化」で取り上げられている。

○市民革命については、「イギリス革命とアメリカ独立戦争」「啓蒙思想とフランス革命」で取り上げられている。

○日本の男女普通選挙については、「大日本帝国憲法発布と帝国議会開設」「大正デモクラシー」「GHQの占領政策」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災については、「大正デモクラシー」「震災と世界の中の日本」で取り上げられている。

○我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「領土画定と朝鮮政策」「冷戦と朝鮮戦争」「緊張する東アジア情勢」で取り上げられ、日本の領土画定と領有をめぐる諸課題について、北方領土、竹島、尖閣諸島のそれぞれの歴史的経緯が示されている。

(4) グローバル化等への対応

○ユーラシアの変化については、「蒙古襲来と亀山上皇の祈り」で取り上げられている。

○ヨーロッパ人来航の背景とその影響、アジアの交易の状況やムスリム商人の役割については、「世界の動きと日本」「大航海時代」で取り上げられている。

○アジア諸国の動きについては、「欧米列強のアジア侵略」で取り上げられている。

○現代の民族や宗教をめぐる対立や地球環境問題については、「テロとの戦い」「頻発する地域紛争」「緊張する東アジア情勢」「国際協調と日本の役割」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○各章の冒頭に学習内容の時期を示した年表を設けた上で、全ての単元において、各項の右下端に学習内容の時代区分が示されている。

○本文の他に、地図や写真、図、表等の資料が示されている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 246 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | | 頁 | 二次元コード |
|------|---------------|----|--------|
| 現代社会 | 「現代社会と私たち」 | 31 | 15 |
| 政治 | 「個人の尊重と日本国憲法」 | 40 | 21 |
| | 「現代の民主政治と社会」 | 52 | 26 |
| 経済 | 「私たちの暮らしと経済」 | 52 | 26 |
| 国際社会 | 「地球社会と私たち」 | 35 | 19 |
| | 「より良い社会を目指して」 | 8 | 3 |
| その他 | | 28 | 5 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 単元の始めには、「導入の活動」が写真やイラストで示されている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「チェック&トライ」で構成されている。
- 各節末には「探究のステップ」が、各章末には「第□章の学習をまとめよう」が設けられている。
- 本文の学習内容等に関して、「もっと知りたい」が設けられている。
- 技能の習得に関して、「スキルアップ」が設けられている。
- 巻末には、資料「世界の現状」、教科書で扱っている法令の条文を探することができる「参考法令集」、「用語解説一覧」、事項を探することができる「さくいん」、年表「現代社会の歩み」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 現代社会の見方・考え方に関して、「見方・考え方を働かせる視点の例を示したマーク」が示されている。
- 全ての単元において、始めに「探究課題」が示され、単元の最後には「探究課題」を解決するための「まとめの活動」が設けられている。
- グループで取り組む活動について、「みんなでチャレンジ」が設けられている。
- 「導入の活動」や「まとめの活動」において、シンキングツールの使い方が示されている。
- 地理的分野、歴史的分野を含めた社会科の総まとめとして、「持続可能な社会の実現のために、地域の課題解決に貢献し、地域社会にどのように関わるか」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の使い方と学び方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 文化の継承と創造の意義について、巻頭資料、「私たちの生活と文化の役割」「伝統文化の継承と新たな文化の創造」「多様な文化の意義」「もっと知りたい『伝統文化がつなぐ、過去と現在、人と人、そして世界中の人々との絆』」「もっと知りたい『空き家・廃校は新たな資源』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 選挙など国民の政治参加や 18 歳選挙権について、「現代の民主政治」「地方自治と私たち」等で取り上げられている。
- 少子高齢社会における社会保障の意義について、「社会保障の仕組みと課題」「少子高齢化と財政」で取り上げられている。
- 仕事と生活の調和の観点からの労働保護立法について、「労働の意義と労働者の権利」「労働環境の変化と課題」で取り上げられている。
- 個人や企業の経済活動における役割と責任について、「企業の種類」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災について、巻頭資料、「持続可能な社会に向けて」「情報化」「住民参加の拡大と私たち」、「もっと知りたい『東日本大震災からの復興と防災』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「領土をめぐる問題の現状」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 人工知能の急速な進化等による産業や社会の構造的変化について、「情報化」、「もっと知りたい『新しい情報技術で社会が変わる』」で取り上げられている。
- 起業について、「企業の種類」で取り上げられている。
- 国連における持続可能な開発のための取組について、「グローバル化」「社会集団の中で生きる私たち」「導入の活動『SDGs から地球規模の課題についてとらえよう』」「国際連合の仕組みと役割」「貧困問題」「世界と協調する日本」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各項では章ごとに枠組みの色が統一され、右端にインデックスが設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードと URL が掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 270 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | | 頁 | 二次元コード |
|------|-----------------|----|--------|
| 現代社会 | 「私たちの暮らしと現代社会」 | 26 | 4 |
| 政治 | 「個人を尊重する日本国憲法」 | 44 | 6 |
| | 「私たちの暮らしと民主政治」 | 46 | 4 |
| 経済 | 「私たちの暮らしと経済」 | 40 | 6 |
| | 「安心して豊かに暮らせる社会」 | 24 | 4 |
| 国際社会 | 「国際社会に生きる私たち」 | 36 | 3 |
| | 「私たちが未来の社会を築く」 | 8 | 2 |
| その他 | | 46 | 3 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 単元の始めには、「学習のはじめに」が写真やイラストで示されている。
- 全ての単元において、各項が、「導入資料・中心資料」→「学習課題」→本文→「確認!」「表現!」で構成されている。
- 各章末には、「学習のまとめと表現」が設けられている。
- 本文の学習内容等に関して、「公民の窓」「クリップ」が設けられている。
- 技能の習得に関して、「公民の技」が設けられている。
- 巻頭には、年表「日本と世界の歩み」、巻末には、教科書で扱っている法令の条文を探ることができる「学習資料編」、「用語解説」、事項を探ることができる「さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 現代社会の見方・考え方に関して、「見方×考え方」が示されている。
- 全ての単元において、始めに「第○章の問い」が示され、単元の最後には「第○章の問い」を解決するための「学習のまとめと表現」が設けられている。
- 「THINK!」「学習のまとめと表現」において、グループで取り組む活動が示されている。
- 「公民にアプローチ」において、シンキングツールの使い方が示されている。
- 地理的分野、歴史的分野を含めた社会科の総まとめとして、「私の提案『自分を変える、社会を変える』をつくろう」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「教科書の使い方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 文化の継承と創造の意義について、巻頭資料、「豊かな生活を実現するために」「伝統文化の継承と新たな文化の創造」「持続可能な社会に向けて『なぜ、伝統や文化をつないでいく必要があるのだろう』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 選挙など国民の政治参加や 18 歳選挙権について、「民主政治と日本の政治」「地方自治と住民の参加」等で取り上げられている。
- 少子高齢社会における社会保障の意義について、「身のまわりの社会保障制度」「互いに助け合う社会」「社会保障を維持するために」で取り上げられている。
- 仕事と生活の調和の観点からの労働保護立法について、「社会で働くということ」「誰もが安心して働くために」で取り上げられている。
- 個人や企業の経済活動における役割と責任について、「株式会社ってなんだろう」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災について、「急速に発展する情報社会」「変わりゆく地域社会」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「日本の領土をめぐって」「持続可能な社会に向けて『なぜ、外交の役割は重要なのだろう』」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 人工知能の急速な進化等による産業や社会の構造的な変化について、「急速に進展する情報社会」「基本的人権を尊重すること」「持続可能な社会に向けて『なぜ、新たな人権問題が起こるのだろう』」「新たな日本経済のあり方」で取り上げられている。
- 起業について、「生産活動をになう主体」で取り上げられている。
- 国連における持続可能な開発のための取組について、巻頭資料、「人権侵害のない世界に」「安全をおびやかすもの」「子どもと女性をめぐって」「持続可能な未来と私たち」、巻末資料で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各項では分野ごとに枠組みの色が統一され、右端にインデックスが設けられている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。
- 専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードと URL が掲載されている。)
- 書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 262 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | | 頁 | 二次元コード |
|-------------|-------------|----|--------|
| 現代社会 | 「現代社会と私たち」 | 27 | 5 |
| 政治 | 「日本国憲法と私たち」 | 44 | 7 |
| | 「政治と私たち」 | 41 | 7 |
| 経済 | 「経済活動と私たち」 | 65 | 16 |
| 国際 | 「国際社会と私たち」 | 33 | 5 |
| よりよい社会を目指して | 「課題探究と私たち」 | 8 | 1 |
| その他 | | 44 | 6 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 単元の始めには、「学習の前に」がイラストで示されている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 「本文資料」 → 「確認しよう」 → 「説明しよう」で構成されている。
- 各節末には「節の振り返り」が、各章末には「章の振り返り」が設けられている。
- 本文の学習内容等に関して、「公民プラス+」が設けられている。
- 技能の習得に関して、「技能をみがく」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている法令の条文を探することができる「資料」、事項を探することができる「さくいん」、年表「第二次世界大戦後の歩み」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 「現代社会の見方・考え方」に関するページが設けられている。
- 全ての単元において、始めに「第○章の問い」が示され、単元の最後には「第○章の問い」を解決するための「学習を振り返ろう」が設けられている。
- グループで取り組む活動について、「対話」マークが示されている。
- 「考えを整理する方法」において、シンキングツールの使い方が示されている。
- 地理的分野、歴史的分野を含めた社会科の総まとめとして、「持続可能な社会の形成に向けた課題探究学習」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「教科書を活用した学び方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○文化の継承と創造の意義について、「生活に息づく文化」「日本の文化とその継承」「未来に向かって『伝統を受け継ぎアップデートしていく』」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○選挙など国民の政治参加や18歳選挙権について、「民主政治と私たち」「地方自治と私たち」等で取り上げられている。

○少子高齢化社会における社会保障の意義について、「社会保障と少子高齢化」で取り上げられている。

○仕事と生活の調和の観点からの労働保護立法について、「働くことの意義と労働者の権利」「労働環境の変化と私たち」で取り上げられている。

○個人や企業の経済活動における役割と責任について、「企業の社会的責任」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災について、「未来に向けて『情報化と防災・減災』」「地方公共団体のしくみと政治参加」、巻末資料で取り上げられている。

○我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「領土をめぐる取り組み」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

○人工知能の急速な進化等による産業や社会の構造的な変化について、「情報化が進む現代」「少子高齢化が進む現代」「生活に息づく文化」「これからの日本の経済」で取り上げられている。

○起業について、「私たちの生活と企業」「アクティブ公民AL『パン屋さんを起業してみよう』」で取り上げられている。

○国連における持続可能な開発のための取組について、巻頭資料、「私たちと持続可能な社会」「国際連合の役割と課題」「持続可能な国際社会に向けて」「未来に向けて『持続可能な社会に向けて大阪・関西万博』」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○全ての単元において、各項では部ごとに枠組みの色が統一され、右端にインデックスが設けられている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。

○専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードとURLが掲載されている。)

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 274 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | | 頁 | 二次元コード |
|------|----------------------------|----|--------|
| 現代社会 | 「私たちと現代社会 私たちが生きる現代社会」 | 18 | 10 |
| | 「私たちと現代社会 現代社会の見方・考え方」 | 14 | 7 |
| 政治 | 「私たちの生活と政治 個人の尊重と日本国憲法」 | 44 | 22 |
| | 「私たちの生活と政治 国民主権と日本の政治」 | 46 | 22 |
| 経済 | 「私たちの生活と経済 市場のはたらきと経済」 | 42 | 23 |
| | 「私たちの生活と経済 国民の生活と政府の役割」 | 18 | 8 |
| 国際社会 | 「私たちと国際社会 現代の国際社会と課題」 | 34 | 17 |
| | 「私たちと国際社会 私たちの課題」 | 9 | 0 |
| その他 | | 49 | 3 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 単元の始めには、「学習の始めに」が写真やイラストで示されている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 「見方・考え方」 → 本文 → 「確認」「表現」で構成されている。
- 各節末には「第□節の問いに答えよう」が、各章末には「まとめとふり返し」が設けられている。
- 本文の学習内容等に関して、「公民+α」が設けられている。
- 技能の習得に関して、「アクティビティ」「情報スキルアップ」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている法令の条文を探することができる「法令集」、資料「現代の世界のようす」、年表「日本の現代史年表」、「用語解説」「類似用語集」、事項を探することができる「さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 全ての単元の各項において、「見方・考え方」が示されている。
- 全ての単元において、始めに「第□章の問い」が示され、単元の最後には「第□章の問い」を解決するための「まとめとふり返し」が設けられている。
- グループで取り組む活動について、「学び合い」のマークが示されている。
- 「思考ツールを使ってみよう」においてシンキングツールの使い方が示されている。
- 地理的分野、歴史的分野を含めた社会科の総まとめとして、「私たちの課題ー持続可能な社会をめざしてー」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「教科書の構成と学び方」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○文化の継承と創造の意義について、「現代社会における文化」「日本の伝統文化の特色と文化の創造」で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○選挙など国民の政治参加や 18 歳選挙権について、「民主政治と政治参加」「暮らしを支える地方自治」等で取り上げられている。

○少子高齢社会における社会保障の意義について、「社会保障のしくみ」「少子高齢化における福祉の充実と財源」「明日に向かって『年金のしくみについて知ろう』」「チャレンジ公民『社会保障のあり方について考えよう』」で取り上げられている。

○仕事と生活の調和の観点からの労働保護立法について、「働く意味と労働者を支えるしくみ」「変化する雇用のかたち」「女性の働く環境と高齢者雇用」「明日に向かって『職業について調べてみよう』」で取り上げられている。

○個人や企業の経済活動における役割と責任について、「株式会社のしくみと企業の社会的責任」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災について、「情報化で変わる社会と私たち」「明日に向かって『災害に強い暮らしをきずく』」「私たちの暮らしと地方自治」「私たちの課題」で取り上げられている。

○我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「日本の領土をめぐる問題」「公民+α『日本の領土をめぐる問題の解決に向けて』」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

○人工知能の急速な進化等による産業や社会の構造的な変化について、「情報化で変わる社会と私たち」「社会の変化と人権保障」「生産活動とそのしくみ」で取り上げられている。

○起業について、「企業の競争と独占の問題」で取り上げられている。

○国連における持続可能な開発のための取組について、巻頭資料、「持続可能な社会と私たち」「明日に向かって『SDGs から社会の課題を考えよう』」「国際社会と持続可能性」「国際連合の目的とはたらき」「明日に向かって『SDGs から未来の社会を考えよう』」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○全ての単元において、各項では編ごとに枠組みの色が統一され、右端にインデックスが設けられている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。

○専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードと URL が掲載されている。)

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 270 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | | 頁 | 二次元コード |
|------|-----------------|----|--------|
| 現代社会 | 「現代日本の自画像」 | 22 | 0 |
| | 「個人と社会生活」 | 20 | 0 |
| 政治 | 「立憲国家と国民」 | 22 | 0 |
| | 「日本国憲法と立憲的民主政治」 | 56 | 0 |
| 経済 | 「国民生活と経済」 | 44 | 0 |
| 国際社会 | 「国際社会に生きる日本」 | 42 | 0 |
| | 「持続可能な社会を目指して」 | 18 | 0 |
| その他 | | 46 | 0 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 各章の始めには、「学習課題」が示されている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「ここがポイント！」で構成されている。
- 各章末には、「学習のまとめと発展」が設けられている。
- 本文の学習内容等に関して、「もっと知りたい」「ミニ知識」が設けられている。
- 技能の習得に関して、「アクティブに深めよう」「課題の探求」が設けられている。
- 巻末には、教科書で扱っている法令の条文を探することができる「法令集」、年表「現代社会の歩み」、事項を探することができる「さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 現代社会の見方・考え方に関して、「やってみよう」が設けられている。
- 各章末にある「学習の発展」では、様々な問いが設けられている。
- 「アクティブに深めよう」において、グループで取り組む活動が示されている。
- 「アクティブに深めよう」において、シンキングツールの使い方が示されている。
- 地理的分野、歴史的分野を含めた社会科の総まとめとして、「持続可能な日本社会をつくるために何ができるか」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書で学ぶにあたって」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

- 文化の継承と創造の意義について、「日本の自画像」「文化の継承と創造」「もっと知りたい『日本人の精神』『科学とは何だろう』『芸術とは何だろう』『宗教とは何だろう』」、巻末資料で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

- 選挙など国民の政治参加や18歳選挙権について、「議会制民主政治」「地方公共団体の仕組みと課題」等で取り上げられている。
- 少子高齢社会における社会保障の意義について、「社会保障制度の充実」「もっと知りたい『年金について考えてみよう』」で取り上げられている。
- 仕事と生活の調和の観点からの労働保護立法について、「働くことの意味」「働く人の保護」で取り上げられている。
- 個人や企業の経済活動における役割と責任について、「もっと知りたい『企業はだれのものか』」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

- 防災について、「情報社会」「もっと知りたい『地方自治と防災・防衛』」で取り上げられている。
- 我が国の国土の理解に関する指導の充実については、「国家と国際関係」「もっと知りたい『我が国の領土問題』『海をめぐる国益の衝突』」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

- 人工知能の急速な進化等による産業や社会の構造的な変化について、巻頭資料、「情報社会」で取り上げられている。
- 起業について、「企業の仕組みとはたらき」「アクティブに深めよう『お店を出店しよう』」で取り上げられている。
- 国連における持続可能な開発のための取組について、「貧困問題と地球規模の福祉」「アクティブに深めよう『日本人の価値観・感性からSDGsを考えよう』」で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

- 全ての単元において、各項では章ごとに枠組みの色が統一され、ページ表記も色分けされている。
- 全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。

1 概括的な調査研究

(1) 総頁数・サイズ

| | |
|-----|------|
| 総頁数 | 262 |
| サイズ | A B判 |

(2) 単元別頁数とデジタルコンテンツにつながる二次元コードの数

| 単元名 | | 頁 | 二次元コード |
|------|-----------------------------|----|--------|
| 現代社会 | 「私たちの生活と現代社会」 | 28 | 1 |
| 政治 | 「私たちの生活と政治 —日本国憲法の基本原則—」 | 40 | 1 |
| | 「私たちの生活と政治 —民主政治と政治参加—」 | 40 | 1 |
| 経済 | 「私たちの生活と経済」 | 54 | 1 |
| 国際社会 | 「私たちと国際社会の課題」 | 36 | 1 |
| | 「よりよい社会をめざして」 | 7 | 0 |
| その他 | | 57 | 1 |

※その他は、巻頭、目次、さくいん、巻末等の資料の頁数

2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得に関すること

- 単元の始めには「□□の入り口」が写真やイラストで示されている。
- 全ての単元において、各項が、導入資料 → 「学習課題」 → 本文 → 「確認」「探究」で構成されている。
- 各章末には、「学習のまとめ」が設けられている。
- 本文の学習内容等に関して、「学習を深めよう」が設けられている。
- 技能の習得に関して、「資料活用」が設けられている。
- 巻末には、資料「日本の伝統文化」、年表「戦後の日本と世界の主な出来事」、教科書で扱っている法令の条文を探ることができる「法令集」、「用語解説」、事項を探ることができる「さくいん」が設けられている。

3 課題解決的な学習の充実に関すること

- 現代社会の見方・考え方に関して、「見方・考え方」が示されている。
- 各章末にある「□□のこれから」では、学んだことを活かしたり振り返ったりしながら、様々な問いが設けられている。
- 「TRY!」、各章末にある「□□のこれから」において、グループで取り組む活動が示されている。
- 各章末にある「□□のこれから」において、シンキングツールの使い方が示されている。
- 地理的分野、歴史的分野を含めた社会科の総まとめとして、「よりよい社会をめざして」が設けられている。
- 自主的な学習に関して、「この教科書の学習のしかた」が示されている。

4 学習指導要領で改善が図られた内容に関すること

(1) 伝統・文化等に関する学習の充実

○文化の継承と創造の意義について、「文化の意義と影響」「日本の伝統文化」「文化の継承と創造」、学習資料「日本の伝統文化」、巻末資料で取り上げられている。

(2) 主権者教育等の改善・充実

○選挙など国民の政治参加や 18 歳選挙権について、「民主政治のしくみ」「地方自治と住民」等で取り上げられている。

○少子高齢社会における社会保障の意義について、「社会保障のしくみ」「社会保障制度と財政」で取り上げられている。

○仕事と生活の調和の観点からの労働保護立法について、「働くことの意義と労働環境の変化」「労働問題と働き方改革」で取り上げられている。

○個人や企業の経済活動における役割と責任について、「企業の役割と責任」「学習を深めよう『企業の社会貢献活動を見てみよう』」で取り上げられている。

(3) 防災教育、海洋や領土に関する教育の改善・充実

○防災について、「情報から知る現代と未来」「学習を深めよう『防災・減災と情報通信技術 (ICT)』」「私たちと地方自治」「学習を深めよう『国民を守る防災・減災』」で取り上げられている。

○我が国の国土に関する指導の充実については、「領土・領海をめぐる問題」「学習を深めよう『日本の領土をめぐる問題』」で取り上げられ、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本固有の領土であることが示されている。

(4) グローバル化等への対応

○人工知能の急速な進化等による産業や社会の構造的な変化について、「情報から知る現代と未来」「学習を深めよう『科学技術の発展により期待されていること』」「企業の役割と責任」「働くことの意義と労働環境の変化」「金融のはたらき」「学習を深めよう『革新的な金融サービス』」で取り上げられている。

○起業について、「企業の役割と責任」「金融のはたらき」で取り上げられている。

○国連における持続可能な開発のための取組について、巻頭資料、「国際社会での人権」「学習を深めよう『企業の社会貢献活動を見てみよう』」「第4章まとめ『経済のこれから』」「SDGs がめざす持続可能な開発」「国際社会での日本の役割」「第5章まとめ『国際社会のこれから』」、巻末資料で取り上げられている。

5 教材や資料の選択に関すること

○全ての単元において、各項では章ごとに枠組みの色が統一され、ページ表記も色分けされている。

○全ての単元において、地図や写真、図、表等の資料が示されている。

○専用サイトから資料や情報を得ることができる。(二次元コードと URL が掲載されている。)

○書体や色使いやレイアウト等に、ユニバーサルデザインの視点が入り入れられている。

